

# さしひいて考えて

年 組 名前

/ 6

- 白い玉と黒い玉には、それぞれ1つあたりの得点が決まっています、  
白い玉が2つと黒い玉が2つでは16点、  
白い玉が2つと黒い玉が5つでは25点になります。  
このとき、白い玉1つと黒い玉1つの得点をそれぞれ図を使って考えます。

① 白い玉(○)や黒い玉(●)、または数字を書き入れることで、下の図を完成させましょう。

○ ○ ● ●	→	16点
○ ○ ● ● ● ●	→	25点
これらのちがいを考えることで、		
	→	( )点 … (あ)

② 上の図の(あ)のことから、黒い玉1つの得点を求めましょう。

(式)

点

③ 白い玉1つの得点を求めるための下の図を完成させましょう。

○ ○ ● ●	→	16点
● ●	→	( )点
これらのちがいを考えることで、		
	→	( )点 … (い)

④ 上の図の(い)のことから、白い玉1つの得点を求めましょう。

(式)

点

# さしひいて考えて

年 組 名前

16

- 白い玉と黒い玉には、それぞれ1つあたりの得点が決まっています、  
 白い玉が2つと黒い玉が2つでは16点、  
 白い玉が2つと黒い玉が5つでは25点になります。  
 このとき、白い玉1つと黒い玉1つの得点をそれぞれ図を使って考えます。

① 白い玉(○)や黒い玉(●)、または数字を書き入れることで、下の図を完成させましょう。

○ ○ ● ●	→	16点
○ ○ ● ● ● ● ●	→	25点
これらのちがいを考えることで、		
● ● ●	→	( 9 ) 点 … (あ)

② 上の図の(あ)のことから、黒い玉1つの得点を求めましょう。

(式)  $9 \div 3 = 3$

3 点

③ 白い玉1つの得点を求めるための下の図を完成させましょう。

○ ○ ● ●	→	16点
● ●	→	( 6 ) 点
これらのちがいを考えることで、		
○ ○	→	( 10 ) 点 … (い)

④ 上の図の(い)のことから、白い玉1つの得点を求めましょう。

(式)  $10 \div 2 = 5$

5 点